

祇園祭の絵を子どもたちがリフレッシュ!!

コンクリートに描かれたレリーフに色付けします。

江戸時代から続いていた関川の「神輿下り」は、約80年前に戦争などでできなくなりましたが、平成3年に50年ぶりに復活し、今に続いています。また、平成4年には、新しい荒川橋の一部が完成しました。

これらをきっかけに、神輿が到着する荒川橋の下に、平成4年に高田河川国道事務所が祇園祭の「神輿下り」と「神輿」のレリーフを作りました。

レリーフができてから25年が経過した今、当時の歴史を振り返るとともに、日々の散策やレクリエーションで訪れる皆さんに楽しんでもらおうと、直江津小学校4年生の皆さんが、総合学習の一環として実際の神輿下りや神輿を参考にして色付けを行います。

あわせて、関川で活躍する「ポンプ車」や「照明車」「ラジコン草刈り機」についての学習も行います。



1. 日時 : 平成29年9月11日(月) 9:20~12:00 (小雨決行)

2. 場所 : 荒川橋 左岸 高水敷

3. 参加者等 : 直江津小学校4年生 25名 高田河川国道事務所

災害対策車(ポンプ車・照明車) ラジコン草刈り機

問合せ先

配布先

上越記者クラブ

国土交通省北陸地方整備局 高田河川国道事務所

副所長(河川) 池田(内線204)

調査第一課長 佐藤(内線351)

電話 025-523-3136(代表)

電話 025-523-4540(調査第一課直通)